

# クロマグロ遊漁に関するアンケート結果

令和6年12月  
水産庁

# 調査目的と調査方法等

## 調査目的

我が国におけるクロマグロ遊漁の今後の管理手法を検討するために調査を実施。

## 調査方法

アンケート形式（水産庁ホームページに掲載）

## 調査期間

令和6年10月10日～令和6年11月30日（51日間）

## 総回答数

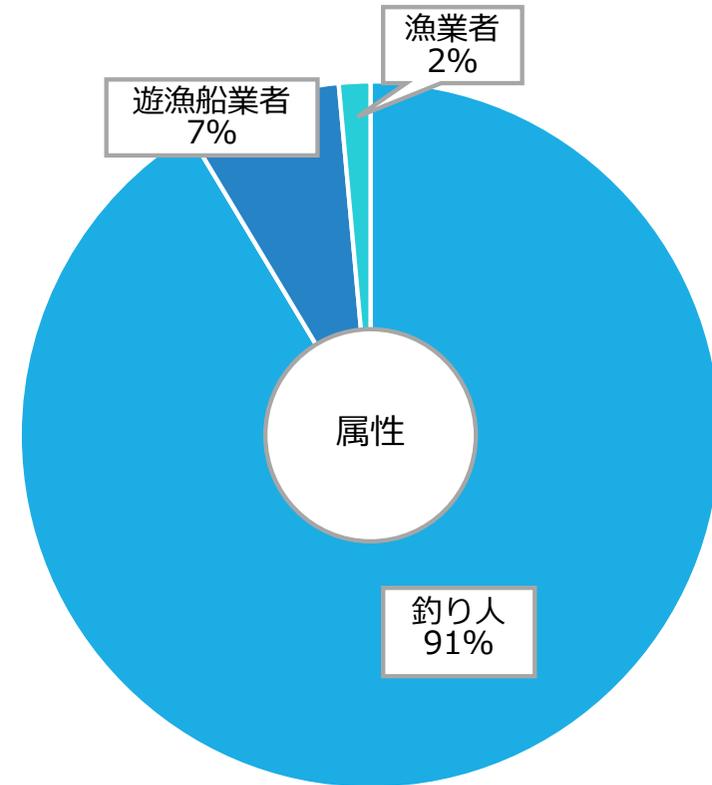
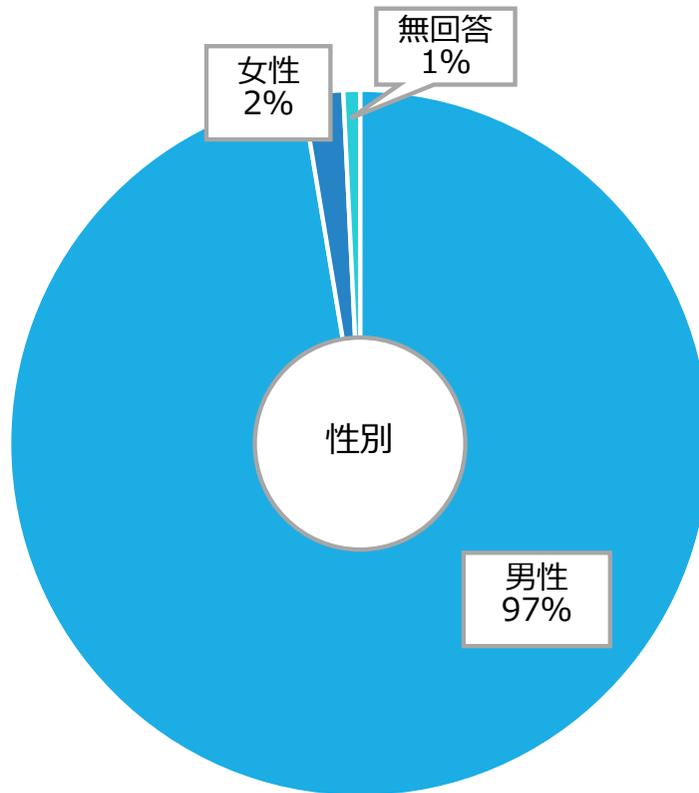
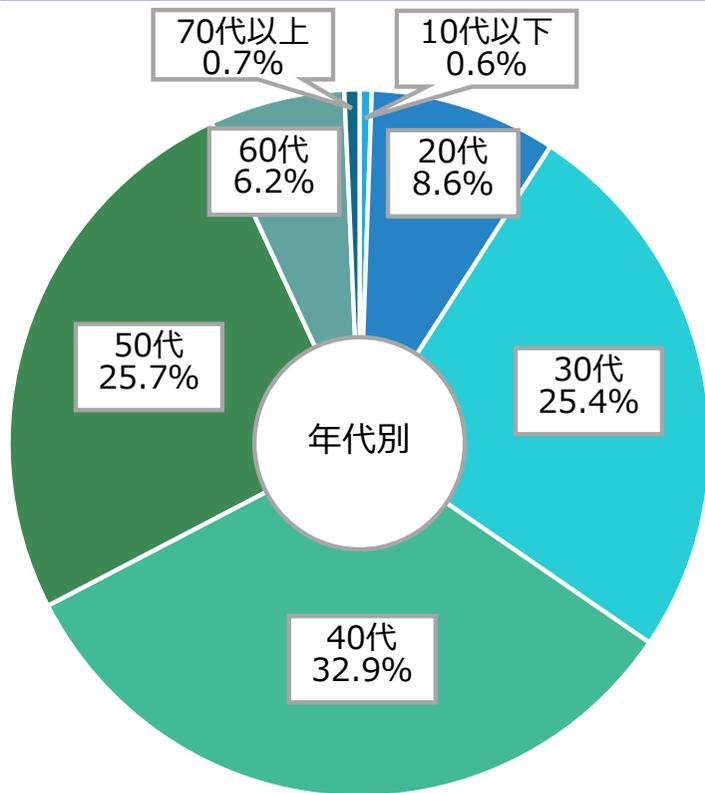
1442件



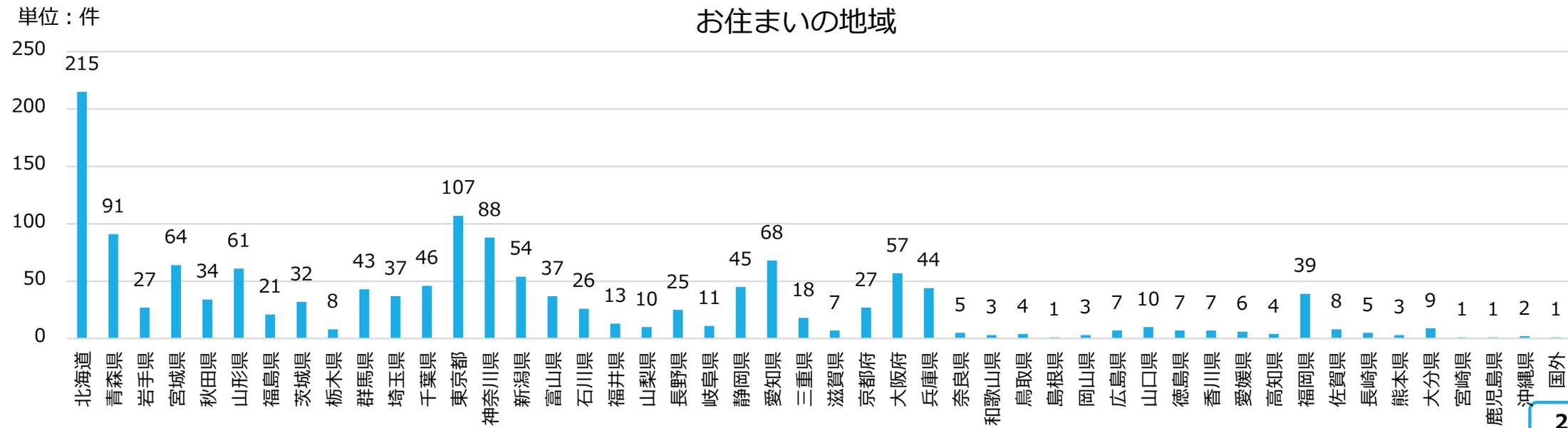
アンケートにご協力  
いただいたみなさま、  
ありがとうございました。



# 回答者に関する情報



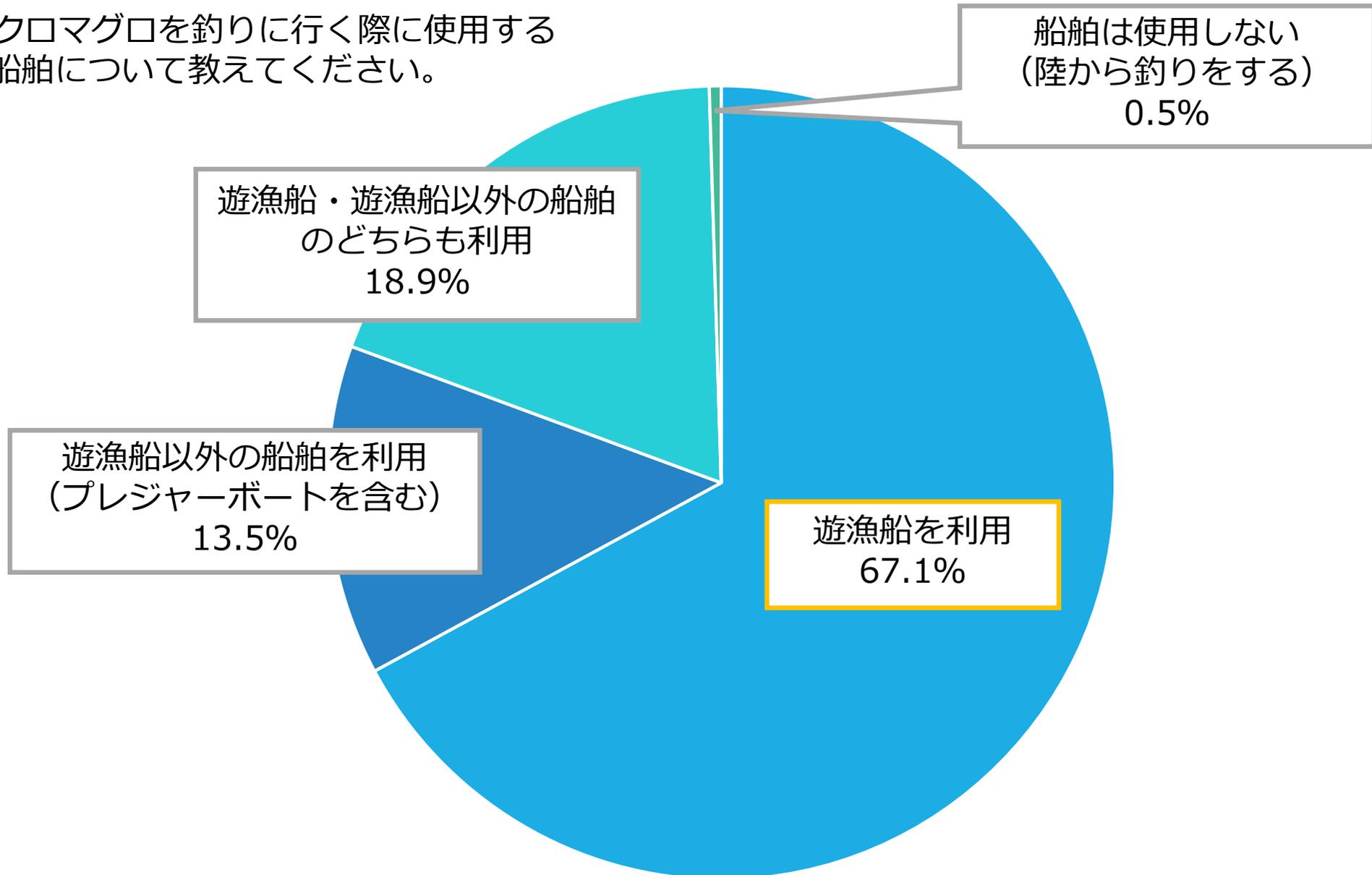
お住まいの地域



# クロマグロを釣りに行く際に使用する船舶について

- 約7割が遊漁船を利用。
- 回答者のほぼ全てが船舶を利用してクロマグロを採捕。

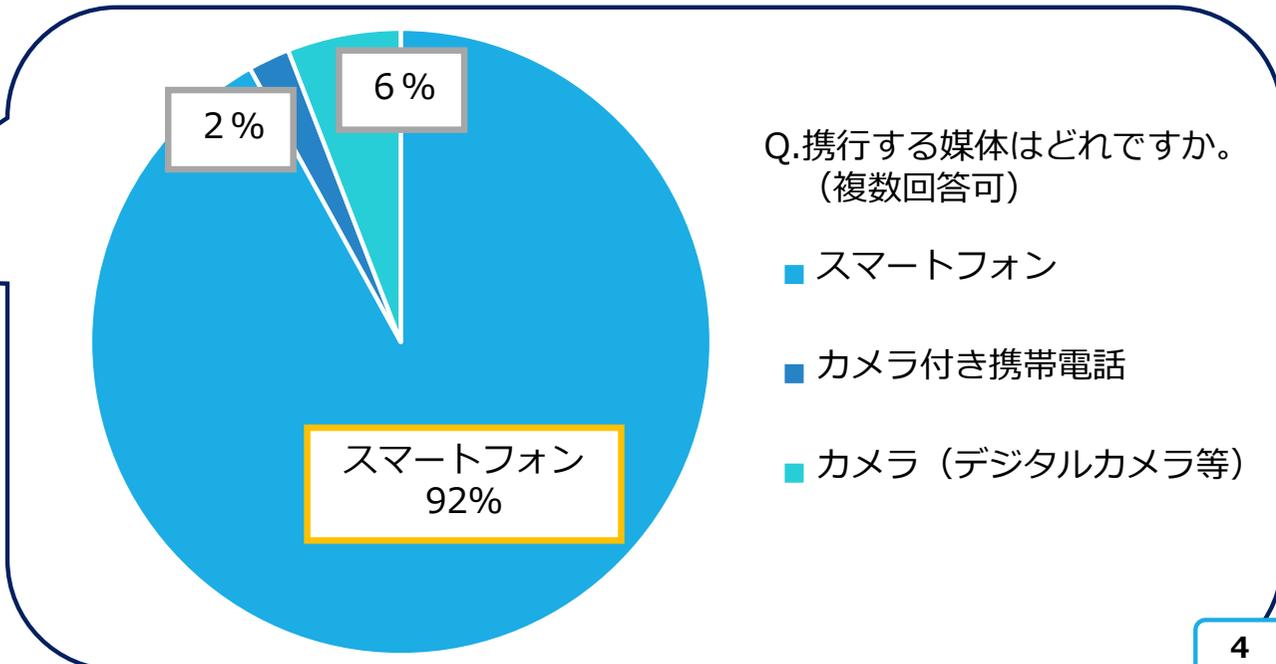
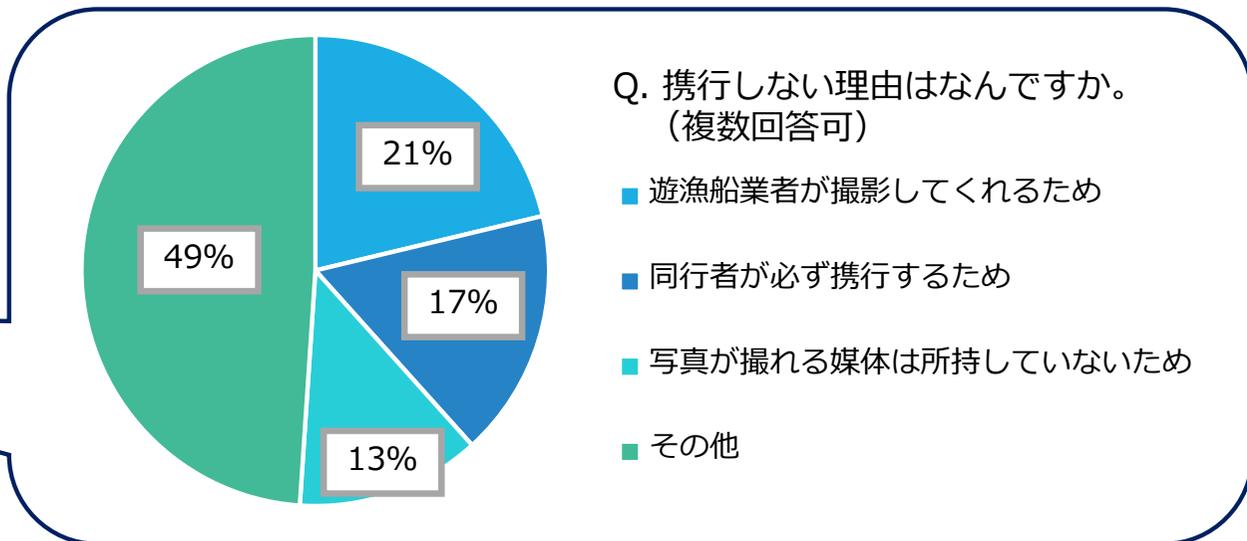
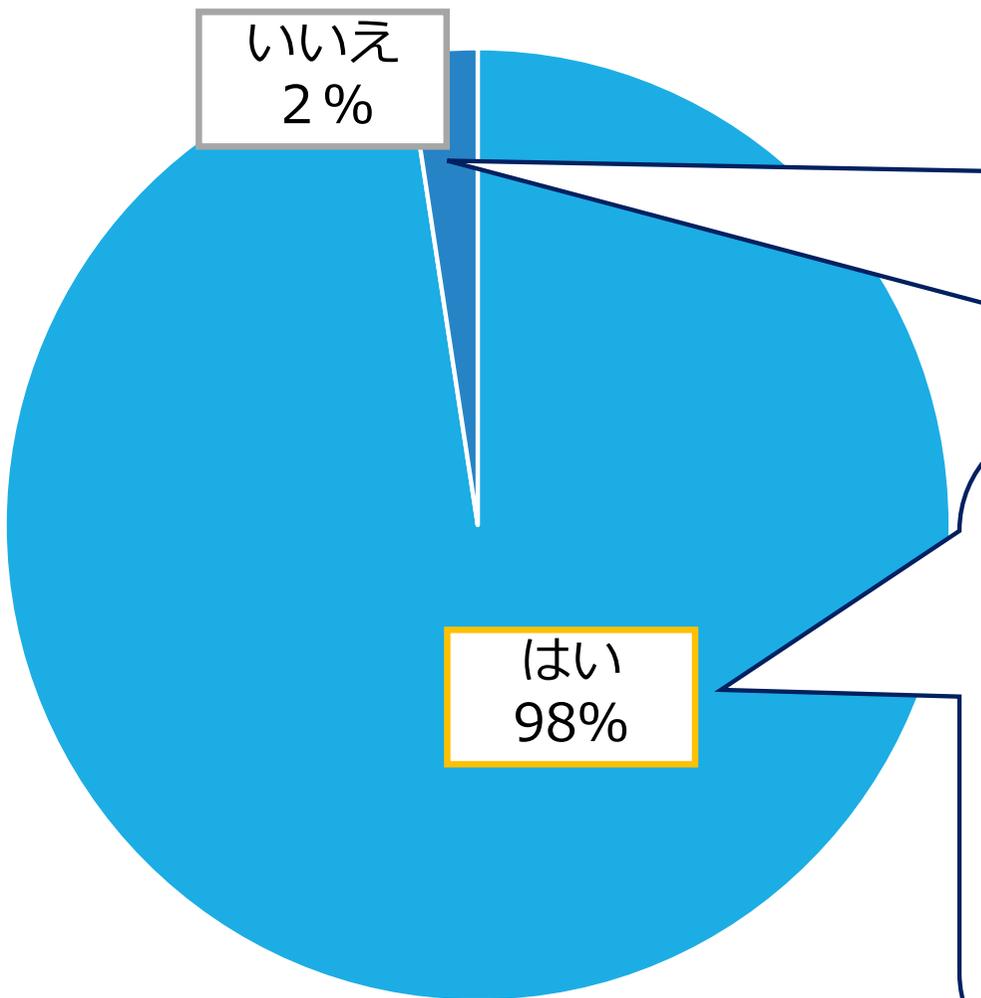
Q.クロマグロを釣りに行く際に使用する船舶について教えてください。



# 写真撮影媒体の携行について

- 回答者の98%が写真が撮影できる媒体を携行。
- 携行する媒体としては、スマートフォンが最多。

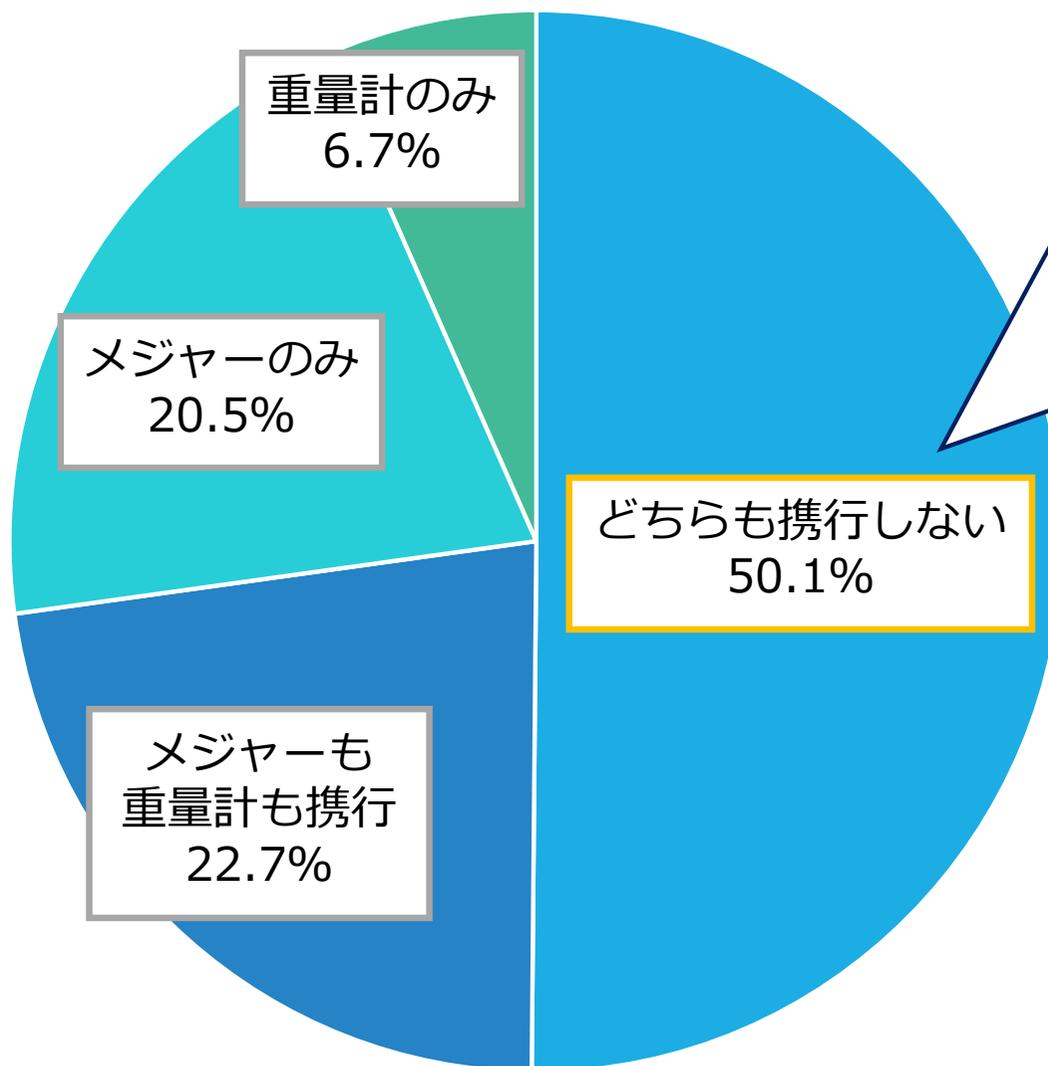
Q. クロマグロを釣りに行く際に、  
写真が撮れる媒体を携行しますか。



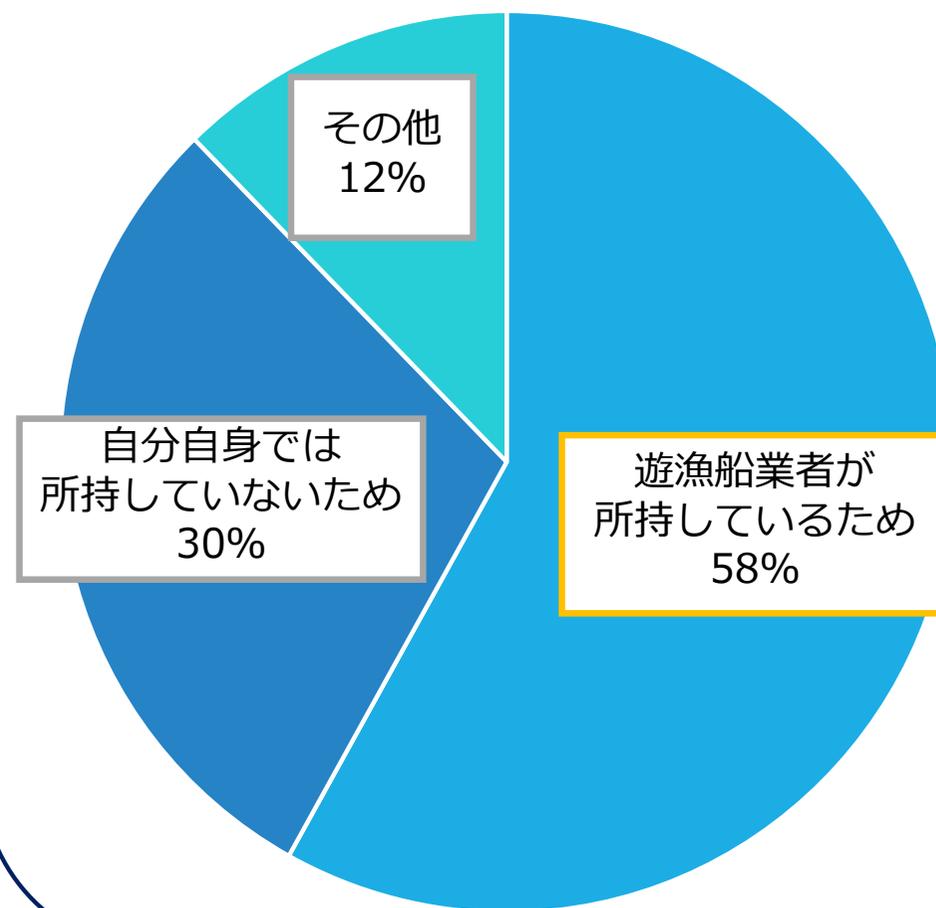
# 計測機器の携行について

- 計測機器を携行する人と携行しない人の割合はおおむね同一。
- 携行しない主な理由は、「遊漁船業者が所持しているため」。

Q. クロマグロを釣りに行く際に、メジャー及び重量計を携行しますか。



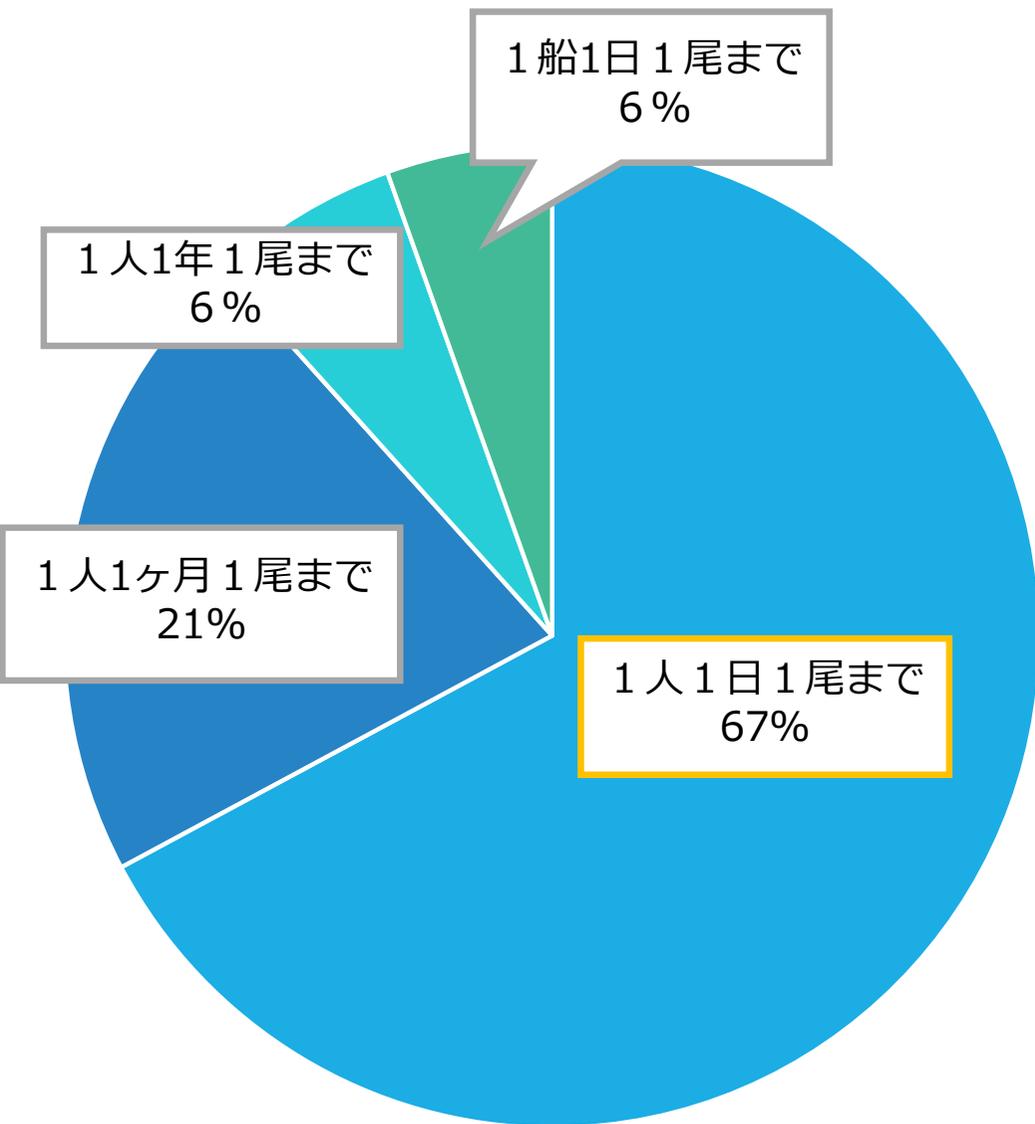
Q. 携行しない理由は何にあてはまりますか。(複数回答可)



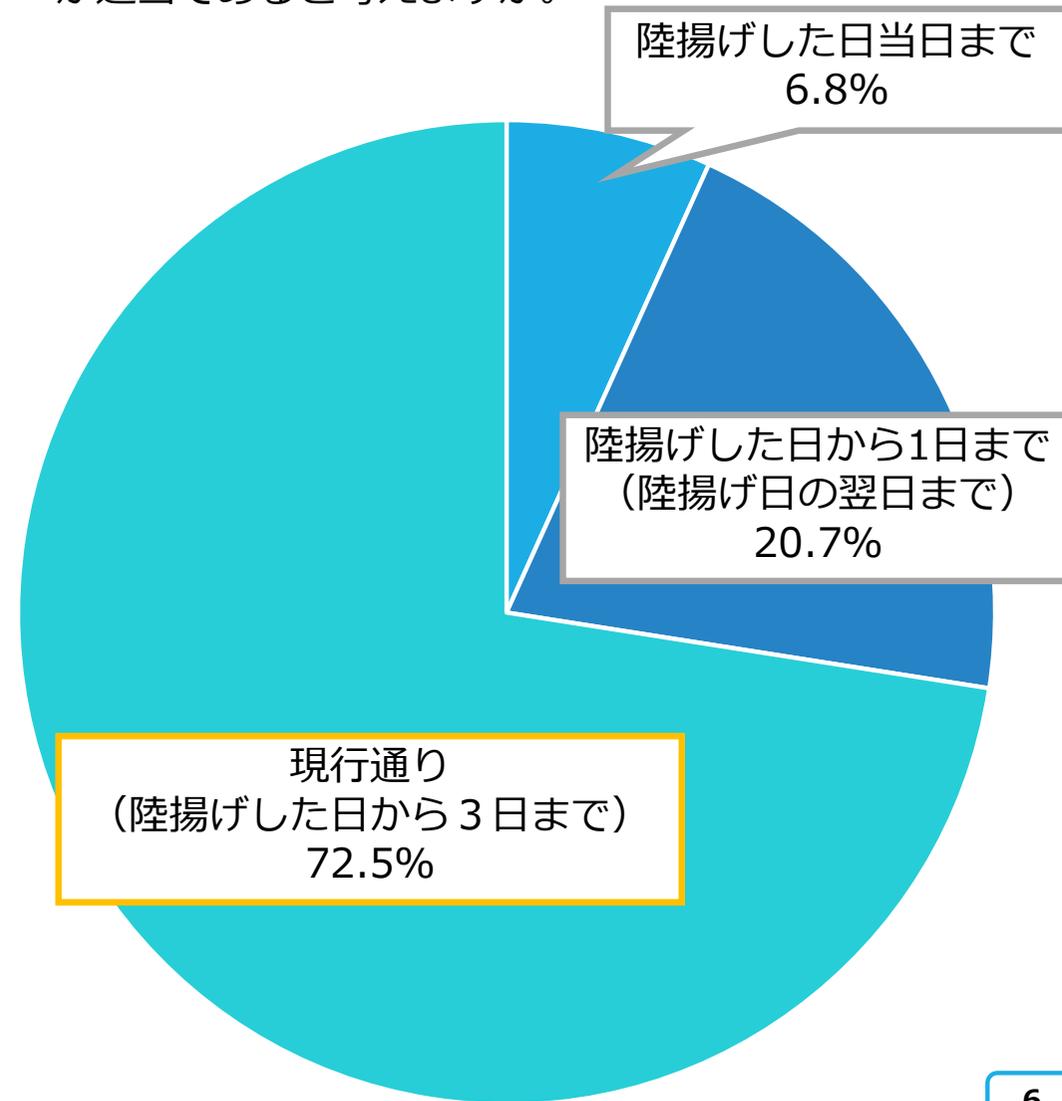
# バックリミットと水産庁への報告日数の考え方について

- 約7割が1人1日1尾まで（現行通り）のバックリミットが適当であると回答。
- 水産庁への報告日数も約7割が現行通り（陸揚げした日から3日まで）が適当だと回答。

Q.バックリミットについて、どれが適当だと考えますか。



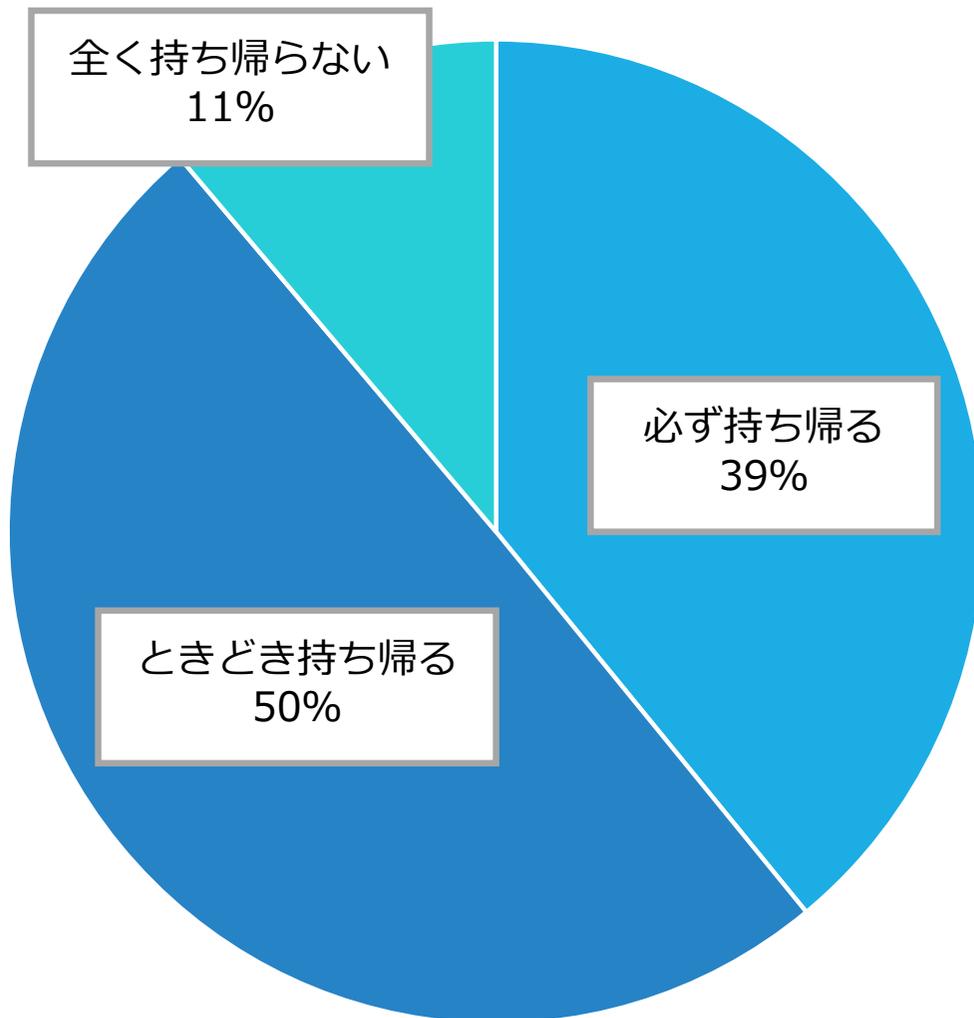
Q.陸揚げ後、水産庁に報告するまでの期間として、どれが適当だと考えますか。



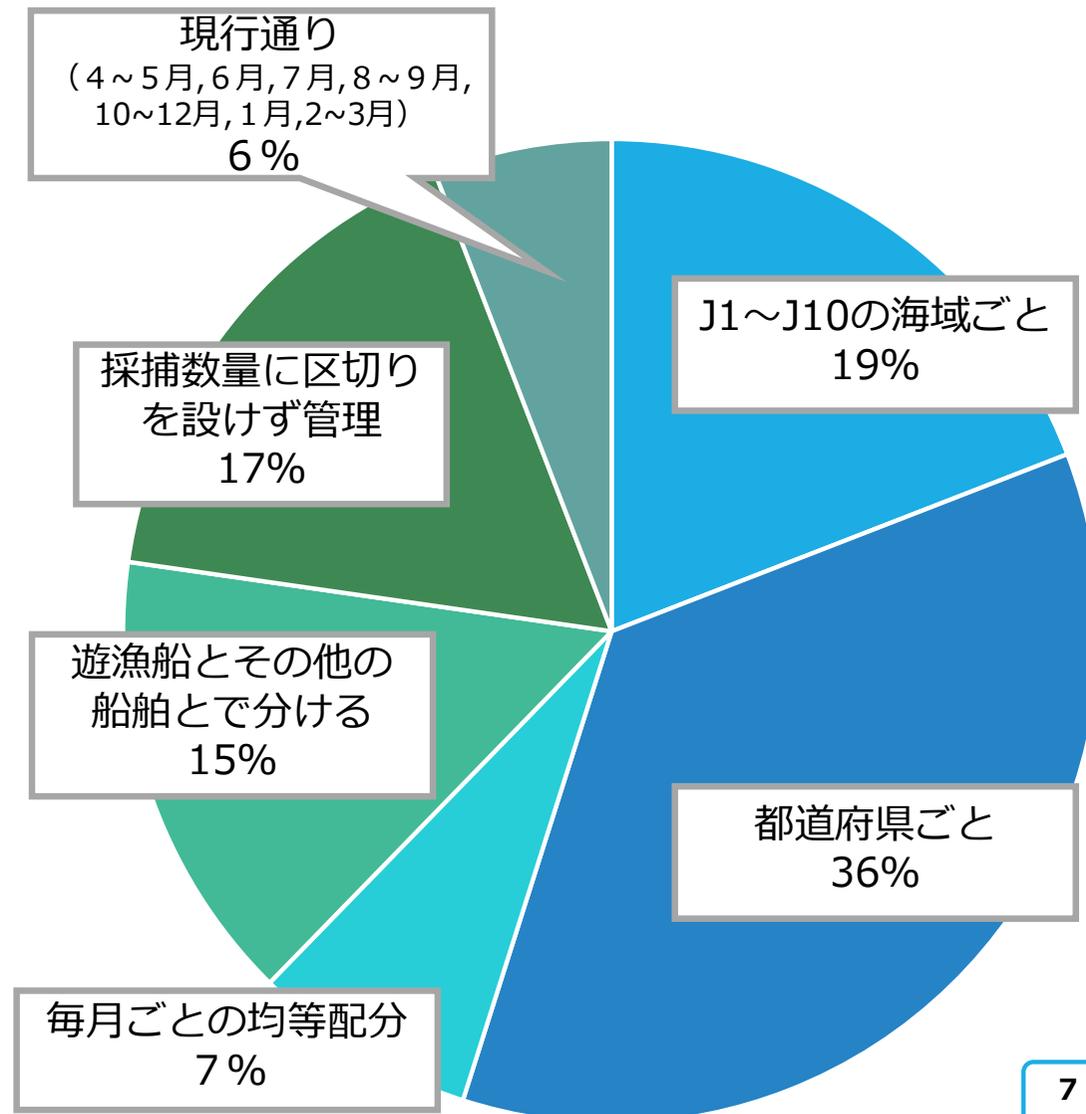
# クロマグロの持ち帰り状況と採捕数量の配分の考え方について

- 回答者の約9割がクロマグロを持ち帰っている。
- 採捕数量の配分は、地域や海域などの区域で分ける考え方の回答が多かった。

Q.クロマグロを釣った場合、持ち帰りますか。



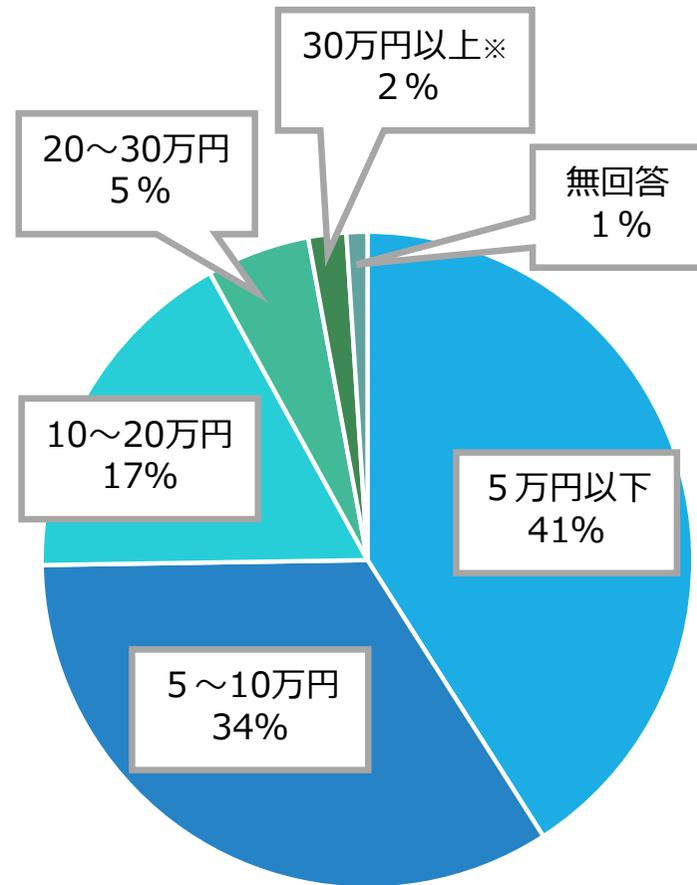
Q.採捕数量の配分について、どのような考え方が適切であると考えますか。



# 1 釣行あたりにかかる平均金額・平均釣行数・平均採捕数量について

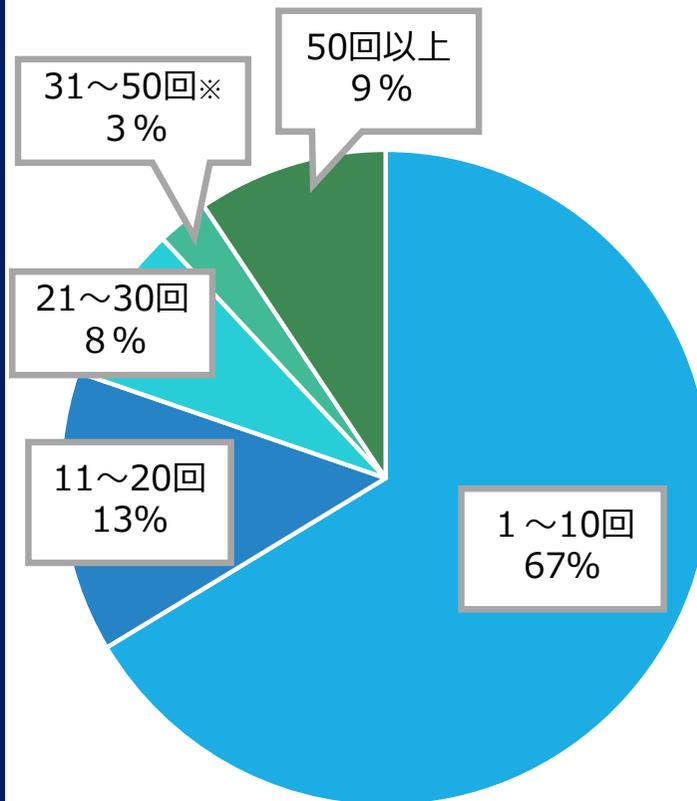
- 1 釣行あたりにかかる平均金額は、約 8 割が10万円以内。
- 平均釣行数は約 7 割が 1～10回であるが、50回以上も約 1 割いる。
- 約 8 割が 1 釣行あたり平均 0～1 匹採捕している。

Q. タックルを除き、1 回の釣行あたりにかかる平均金額を教えてください。



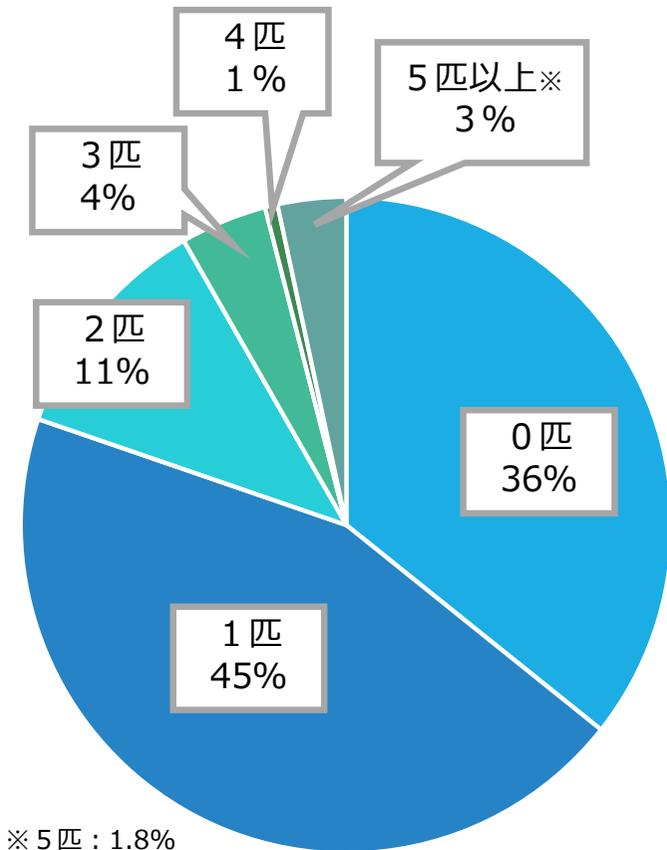
※30～40万円：1.0%  
 40～50万円：0.3%  
 50～60万円：0.1%  
 70万円以上：0.4%

Q. 日本国内で、1 年間に平均して何釣行するか教えてください。



※31～40回：2.0%  
 41～50回：0.6%

Q. 1 釣行あたり、リリースした分を含め平均何匹くらい釣れますか。



※5匹：1.8%  
 6匹：0.2%  
 7匹：0.3%  
 9匹：0.1%  
 10匹：0.1%  
 10匹以上：1.0%

# クロマグロを釣りに行く地域について

○ 回答者の多くが北海道・青森県及び日本海側を訪れている。

Q.主にクロマグロを釣りに行く地域を教えてください。（複数回答可）

単位：件

